

第7回学校教育・保育審議会 議事概要

- 1 開催日 令和5年3月20日（月）
- 2 開催場所 白石市役所3階第3会議室
- 3 出席委員 富樫会長、紺野副会長、田端委員、松原委員、菅野委員、齋藤委員、一條委員、相原委員、安達委員、樋口委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 12名
- 6 開会時刻 18時00分
- 7 協議事項
 - (1) 幼児教育・保育のあり方について
 - ・「本市における幼児教育及び保育のあり方に関する事項」答申書を富樫会長から半沢教育長に手交。
 - (2) 小中学校教育のあり方について
 - ・コミュニティスクールを地域全体で組織したうえで情報共有に活用し、再編を見越したものにしていけるのがよいのではないかと。
 - ・再編したとして現実的にバスを何往復も出せるわけではない。時間の有意義な過ごし方を考えていくべきである。
 - ・答申には義務教育学校や小中一貫校の差を記載するべきではないかと。
 - ・「中1ギャップ」という言葉より具体的な課題の記載をすべきではないかと。
 - ・「再編を活性化につなげる特色」というものは今も取り組んでいる。今やっていること、やろうとしていることの周知の仕方が大事である。
 - ・地域づくりは人。生き残るためには共有化と連携が不可欠。今あるものをできるだけ活用していく必要がある。
 - ・再編するまでの期間にも審議会は責任を持つべきである。
 - ・どんな学校にするとしても、やり方次第ではないかと。地域が参画していく仕組みをつくるのがよいと考える。何が正解かは分からない。
 - ・中規模義務教育学校、小規模小中一貫校、小規模小中一貫不登校特例校へ再編という素案をベースにしていける。
- 8 閉会時刻 19時50分